

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和7年6月23日

事業者名: 有限会社 ムトー技研

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	プラスチック材の再利用として、車のバンパー廃棄物を活用しリサイクルを行う。廃棄物からプラスチック材に再利用し医療用ゴミ箱の製品製造を実施しております。CO2排出量の削減に取り組む。		⑫つくる責任 つかう責任, ⑭海の豊かさを守ろう, ⑮陸の豊かさを守ろう	定期的にバンパーの回収をして医療用ゴミ箱の生産をして医療現場でご利用頂いております。	指標	リサイクル材の活用促進：2030年までにリサイクル材の利用を15%増加させる。 SBT認定取得
					目標	プラスチック材の再利用として、トウモロコシの廃棄物を活用しリサイクルを行う事を目標とし、廃棄物からプラスチック材に再利用しコップ・皿・トレイの製品開発を実施していきます。 令和7年度 SBT認定を取得する
社会	従業員に対する福利厚生 of 拡充。従業員の健康診断の推進。 女性が働きやすい職場の構築。		③すべての人に健康と福祉を, ⑧働きがいも経済成長も	日本人正社員は年1回健康診断の実施をしており、その他外国人実習生には年2回健康診断の実施をしています。福利厚生制度として飲食店等の割引クーポンを配布してご利用頂いております。その他、給食費補助やBBQ、社員旅行を計画実行しており資格取得の補助を行っています。	指標	従業員の健康診断100%実施：健康診断を受ける従業員を100%にする。
					目標	今後も健康診断の受診100%維持していく。
経済	多種類の成形機を導入していることから、あらゆるプラスチックの成形に対応することが出来る。 プラスチックで商品を成形する事により、軽量かつ頑丈な製品を出荷する事が出来る。		⑧働きがいも経済成長も, ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	災害時、土嚢袋を使用して水害対策を行っていた事業者に向けプラスチックで出来た止水板を生産し、重量物であった土嚢袋と比べ1/10の軽量化に成功した。	指標	プラスチックに代替できる製品の成形を考案し製品化していきたい。
					目標	2030年までに代替商品の生産割合を5%増加させていく
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ 製造ラインの工程・自社の取り組みを徹底している。 従業員が発言できる環境を構築している。改善できる事象について積極的に発言をするなど風通しが良い職場環境を維持している。				
	☒					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ホームページにて自社のSDGs行動への取組みを掲載 https://www.big-advance.site/s/202/2521				